

経営のヒント92 ワンマン経営は、是か非か？

中小企業の場合は、最後をの除けば、基本的には OK

武田信玄。戦後時代の武将では最高のトップリーダーです。

組織は最強。人間的な信頼も絶大。

現代の中小企業では、経営の方向性、企業を中心に明確であり、その意味でもワンマン経営は、良い結果をあげる場合が多いことになる。

しかし、ワンマン経営にも、欠点がある。

駄目なワンマン経営がある。

それは、6つのポイントである。

1. 常日頃、聖域の部分をも多く設けていえる。透明性がないこと。
2. 感情論で人事を決定する。不公平、差別している。
3. 公私混同がはなはだしい。
4. 社内の衆知を集めず、独断で決める。
5. 部下の意見を聴かない。
6. 信頼できる相談相手がいない。

そして、もう一つ最悪、且つ重大な条件が一つある。

7. 自分が生涯現役だと思っていること。

？ この生涯現役が最悪の条件になる。

まさに武田信玄は、7つ目の生涯現役のままであった。

残念ながら、その他の条件では最高点が付けれるのに。

唯一、事業承継は完全に失敗であった。

もし自分一代で事業を終わらせることが出来れば、OK ですね。

しかし、残された社員やその家族はどうすればいいのか？

ワンマン経営者がいなくなると同時にその組織は一直線に崩壊に進むことになる。

では、どうして失敗したのか？ 考えてみましょう。

人間は誰しも、元気な内は、自分は死ぬことなんか少しも思っていない。

名誉欲もあり、自分がいなければと自己顕示欲が強いのがワンマン経営者の特徴である。

<経営のヒント>

後継者養成計画を考えましょう

1. 後継者に原理原則を教えてくれる師を持たせること
2. 己の出处進退 (勇退時期) を誤らないこと
3. 出来るだけ早く、後継者を組織の中核に参画させること

創業より守成の方が、難しいと肝に命じること

上手な事業承継する絶対条件は何かと考えると

？ 信頼できる NO.2 参謀を持つ事ではないでしょうか？